

進路だより 2026

第 5 号

2026年5月25日(月)

沖縄県立真和志高等学校

進路指導部

mawashi high school

卒業生へ正直インタビュー



01



「今日は1限目だけ！明日はレポート提出もある」

2026年3月に卒業した普通科出身の先輩が、進学先の授業後に来校。大学での学生生活について教えてくれました！

必要なことは・・・

「文章力と言語化する力」
「早めの準備」



がんばって話しかけた！

大学では学科の活動や、授業などでも周囲と協力する力が必要です。大学生活は「楽しい」と話しながらも、日々努力していることをたくさん教えてくれました。

先日、沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科へ進学し、社会科学の教員を目指して学んでいる卒業生に話を聞く機会がありました。話を聞いていて強く感じたのは、大学生は「自由で楽しそう」というイメージだけでは語れない、ということ。その「楽しさ」は「大学ではレポートを書く」と話してくれました。しかもその量と内容は高校までとは大きく違います。「授業を受けて2000字〜2500字（原稿用紙3枚〜5枚）のレポートを書く」とがあります。「明日提出のレポート課題もあります」とも話してくれました。大学では、好きな分野だけでなく、苦手な分野も取り組まなくてはならないこと、自分で調べ、考え、まとめる力が必要になるそうです。その「楽しさ」は後輩たちへのアドバイスとして、「文章力と言語化する力が必要です」と強く伝えてくれました。

大学の授業についても「知っている前提で進むので、他高校出身の学生も難しいと言っています。でも今のところはなんとかしています」と話していました。高校までのように、細かくフォローしてもらえませんが、だからこそ、早めに準備する力が必要です。実際に、その先輩は高校時代から、小論文対策を早めに準備（2年生の最初から）していたそうです。また、「4月はすぐにグループワークやゼミ合宿があり、がんばって話しかけました！」とも話してくれました。大学では、一人では乗り越えられない場面もたくさんあります。しかし、自分から動かなければ関係は広がりにくい環境です。だからこそ、その先輩が自ら話しかけたという行動はとても大切な事だったと思います。「一人でがんばる力」だけでなく、「周囲と協力する力」も必要なのです。

以上、インタビューでした！

「後輩たちへ、文章力と言語化する力が必要！準備は早めにするのが大事！」